

「学びとつながりを生み出す家庭教育支援の在り方に関する提言」について

このたび、第32期青森県社会教育委員の会議(任期:平成26年10月18日～平成28年10月19日)から、「学びと学びとつながりを生み出す家庭教育支援の在り方に関する提言」について、本県教育委員会に報告書が提出されました。その概要は次のとおりです。

1 社会教育行政・関係者に向けた5つの提言

〔1〕 情報発信・提供に関する支援

多くの家庭教育支援団体が発信している子育て支援に関する情報について、行政機関が、各地域の団体と連携しながら、ウェブ上にポータルサイト(様々な情報の入口となるサイト)を構築するなど、効果的な情報発信・提供を支援していく必要があります。

〔2〕 団体と支援を必要とする人とのマッチング

行政は、支援を必要としている親と支援者をつなげていくため、子育て・家庭教育に関する相談窓口に関する広報をより強化し、活用される窓口としていく必要があります。

子育てや家庭教育に関する相談窓口には、一人一人の相談者にきめ細かい対応をしていく必要があります。社会教育行政には、そのような人材を育成していくことが求められます。



〔3〕 団体の継続的な運営に向けた学びの支援

活動を継続させるためには、団体の活動理念、目標などを会員内で共有し、活動へのモチベーションを高く保ち続け、実践の充実につなげていくことが必要です。

そのため、団体に対する学びの支援として、①活動資金の獲得、②効果的な情報発信、③ソーシャルビジネス、コミュニティビジネス、④ファシリテーション等の研修が考えられます。

また、学びの支援以外では、助成金に関する情報など、団体の運営に役立つ情報を提供するとともに、補助金や助成金を申請する際のサポートに力を入れていくことも求められます。

〔4〕 他の団体との人的ネットワークづくりの支援

SNSなどを通じて、家庭教育支援に取り組む活動者同士のつながりが容易になっており、つながるだけでなく共感を生み出すことにより支援や協力を得やすくなっています。

このような中、行政としては、家庭教育支援に関わる団体だけでなく、活動分野の異なる団体との交流の場を設け、活動者同士互いに顔の見えるかたちで交流、コミュニケーションを図る場を設定することが求められます。



交流の場のイメージ

〔5〕 企業による取組への支援

企業で働く従業員には、地域社会を支える一員として行動していくことが期待され、とりわけ家庭において子どもを健全に育てていくことが求められています。そのためにも、企業には従業員が働きながらも安心して子育てができるような体制の整備が求められています。

そのため行政は、「次世代育成支援対策推進法」及び「女性活躍推進法」に基づく一般事業主行動計画を策定することにより企業にもメリットがあるということをこれまで以上に周知し、同計画の策定の促進に努めていくことが必要と考えます。

2 家庭教育支援団体への調査

会議では、家庭教育支援が積極的に行われることにより、地域社会全体で子どもを育てていく機運が醸成されていくと考え、家庭教育支援に取り組む団体等に聞き取り調査を行うこととしました。そのため、家庭教育支援の活動内容を以下のように分類し、それぞれの区分に該当する活動に取り組む以下の団体等を対象に、訪問調査を実施しました。

活動区分	団体名【市町村名】及び団体概要
・親子で活動を希望する保護者へ遊び体験などの機会を提供している団体	特定非営利活動法人子どもネットワーク・すてっぷ【五所川原市】 子どもたちをみんなで支援することを目指し、主に子育て支援、子どもまつりの開催など体験活動に取り組んでいます。
・子育てに悩みを抱える保護者の相談や要望に応じたきめ細かいサービスをしている団体	特定非営利活動法人子育てオーダーメイド・サポートこもも【青森市】 産前産後のサポート、子育てヘルパーの養成・派遣など子育ての不安や大変さを支える活動に取り組んでいます。
・働きながら子育てする保護者のワーク・ライフ・バランスを推進している団体 ・子育てしながら資格を取りたいと考える保護者へ学びの支援等をしている団体	株式会社 フジモーターズ【弘前市】 自動車部品の卸・販売業。女性が働きやすい環境づくりのための各種取組、社員教育に力を入れています。
・両親の積極的な育児等への関わりを推進している団体	ババママふぁいと協会【八戸市】 主に「八戸エリアの子育て情報サイト」の運営、親子の学びの場づくりに取り組んでいます。
・保護者同士の仲間づくりをコーディネートするなど、地域の子育てを支援している団体	大きな桜の木の下で【八戸市】 シュタイナー教育の考えをベースとしながら、子どもと大人と一緒に楽しめる各種イベントを実施しています。
・次の親世代を育成するために、中・高校生への保育体験をしている団体や地域貢献企業	鱒ヶ沢町福祉衛生課「母子支援センター」【鱒ヶ沢町】 産前産後のケア、ママサポート事業、学童保育や小学生から高校生を対象とする性教育教室に取り組んでいます。
・障害のある子どもに学びを提供している団体	一般社団法人青森県手をつなぐ育成会【青森市】 知的障害の理解を深める啓発活動、障害者の社会参加促進、保護者・支援者向けの研修会等に取り組んでいます。
・親としての学びを提供している団体	「親の時間」はちのへ【八戸市】 親同士がお互いの気持ちや話を聞く手法を使い、親子関係・家族関係を見つめ直す講座を実施しています。

調査項目

(団体への質問)

- ①団体の概要
- ②活動のきっかけ
- ③他団体とのつながり

④予算について

⑤メンバーを増やす工夫、後継者について

⑥今後取り組みたいこと



3 調査結果の分析・考察

会議では各家庭教育支援団体等への聞き取り調査結果の分析を進めました。そこから各団体の活動を通して親同士が学び合い、地域社会との関わりが深まっていく様子が特徴として見られるとともに、様々な課題が浮かび上がってきました。

(1) 学びやつながりの特徴

◇良好な人間関係を構築するための学びを提供している

子育てに関する講座や情報交換の場を提供し、子育てへの不安感解消とともに、良好な親子関係を築くための学びを提供しています。

◇支援を続けていくために必要な学びがある

参加者を運営スタッフとして運営側に巻き込み後継者を育成したり、外部団体の協力を得て運営のノウハウを学んだりしています。



支援施設内の情報掲示板

◇活動地域とのつながりを重視している

適切な支援のために家族全体と連携する重要性を認識して活動しています。また、活動の活性化のために、地域社会及び行政機関と積極的に関わっています。

◇団体内でつながっていくことによる効果

参加者同士の個人的な交流が、親の新たな学びや活動の、そして団体の活動の力になっています。

◇各団体とも情熱を持って取り組んでいる

リーダーの活動にかける情熱の強さや活動意欲の高さが団体の活動に大きな影響を及ぼしていると言えます。

(2) 学びやつながりについての課題

◆親の学びの機会の充実

親への支援をいかに行うかという面で課題意識を持つ団体が多く見られ、各団体の目的に応じた学びの機会の充実が求められています。

◆学校、PTA等とのつながりの強化

各団体と学校やPTAとの連携はそれほど強くはない状況も見られるため、つながりを強化していく必要があります。

◆他団体との連携

様々な要因で会員数や講座参加者の減少に直面しており、その解決のため他団体との連携が求められています。

◆地域住民に対する周知

親に対する活動の周知を課題として挙げています。支援の情報が確実に家庭に伝わる手立てを工夫することが求められています。



団体活動紹介パンフレット

(3) その他課題

- ◆活動資金や予算、活動場所の確保
- ◆後継者の育成

1 あおもり親楽プログラム

「あおもり親楽プログラム」は、子育てに必要な知識やスキルについて、親同士や家庭教育を支援する者が身近なエピソード等をとおして話し合い、主体的に学べる参加型の学習プログラムとして県教育委員会が作成しました。

幼児健診や保育所・幼稚園・学校等での保護者会等で、市町村教育委員会や家庭教育支援団体等の講座・研修等、様々な機会でも活用できます。



1 乳幼児・小学生編



2 中・高校生編



3 支援者編



このプログラム冊子は県生涯学習課のウェブサイトからダウンロードできます。

URL : <http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/tunagariaisaeai.html>

2 あおもり子育てネット (運営：県総合社会教育センター)

「あおもり子育てネット」は、家庭教育に関する電話・メール相談や学習情報を提供することで、青森県の子育てを応援します。

あおもり子育てネット

あおもり子育てネットは、家庭教育に関する電話・メール相談や学習情報を提供することで、青森県の子育てを応援します。

子育て動画

子育てについての情報を映像でご覧ください。

子育て情報

子育てにやさしい団体や施設などの情報をご利用ください。

学習コーナー

子育てに役立つ学びが満載です。一緒に学びましょう。

リンク集

いろいろな機関が運営する子育てホームページを紹介しています。

新着情報

- 2016.04.01 【電話相談曜日変更のお知らせ】平成28年度より、ほっとライン受付が水・木曜日になりました。
- 2015.09.30 【電話相談休止のお知らせ】工事に伴う停電のため、10月22日は相談を休止しました(10/27再開しました)。
- 2015.07.30 【メンテナンス】サーバ更新のため、相談メール機能が一時停止しています(7/31再開しました)。
- 2015.03.27 「あおもり子育てネット」の子ラシを掲載しました。
- 2015.03.19 「子育て動画」を1つ追加しました。

電話による相談

すこやか ほっとライン

017-739-0101

- 電話による相談は「すこやかほっとライン」へ。
- 相談受付時間 毎週水・木曜日 午後1時～午後4時(祝日・年末年始は休みです)
- 相談上の秘密は固く守ります。
- 面接による相談は、あらかじめ電話予約が必要です。
- メールで子育てについての様々な相談を受け付けています。気軽にご相談ください。

[相談メール](#)



電話による相談 ☎ 017-739-0101 (すこやかほっとライン)

URL : <http://kosodate-a.net/index.html>



本調査研究報告書の全体版は青森県のウェブサイトに掲載しています。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/2008-0715-1035-255.html>

【問合せ先】 青森県教育庁生涯学習課企画振興グループ

TEL 017-734-9888